

れいわ新選組機関誌

れいわPRESS 第12号

2025年9月30日発行

初登院から約1年!
今の気持ちを直撃

vol.2 & vol.3 佐原若子、上村英明

れいわ新選組所属議員、
魂の国会質問 (第8弾)

さかぐち直人、たがや亮、木村英子、山本太郎

議員めし Vol.9 大島九州男



<https://reiwa-shinsengumi.com/>

初登院から約1年！今の気持ち直撃

2024年11月11日に初登院した佐原若子議員に、約1年間の議員生活についてコメントをいただきました。

vol.02

衆議院議員
佐原若子

——初登院から1年、嬉しかったこと、辛かったことを教えてください。

しれないと反省もしております。

初登院から1年が経ちました。慣れない場で右往左往しつつ、政策審議会の担当者の方々からのご指導や事務所の秘書たちや市民の方々からも考えをいただきましたが、質疑を重ねました。

——この1年、嬉しかったこと、つらかったことを教えてください。

支持者さんたちから「観

てるよ！応援しているよ！」と声をかけていただいたときは本当に嬉しかったです。しかし、当然改善していただけるような案件もあっさりとは否定され、議論の時間がいただけず、それぞれの思いに伝えられなかったことが辛かったです。

——通常国会に出て感じたことがあれば教えてください。

い。

通常国会は茶番といわれる意味を痛感しました。本当に必要な法案が上がってこない、成立しないことに驚きました。

——国会議員の日常で、驚いたことや意外だと感じたことがあれば教えてください。

通常国会はあつという間に終わり、世間の常識とは違うことを感じました。「政治家は野党であれ与党であれ、何かしらどこかでつながっているのではないか？」と、疑ってしまうほどでした。

どでした。

議員を長くされてきた方々のひとつの仲間意識というようなものを感じました。

野党と与党が楽しく談笑する様子に、少しですが違和感をおぼえました。

また質問の前は、省庁の官僚たちが来て「レク」という講義をされていくのも不思議な感じがしました。互いにその場では争わず、前もって省庁が台本を準備する趣旨です。本当に国民の為の政治を私たちはしているのだろうかというジンマを感じました。

——れいわ新選組の議員として、この先の目標や目指していることを教えてください。

私はれいわ新選組の政策が実現すれば、もう一度日本は幸せな国になれると確信しています。利権や権力への忖度がなければ、山本代表の積極財政による政治が行われれば、皆が笑って暮らせる社会が実現すると確信しています。

手を伸ばせばそこにあるのに、新しい経済システムを理解しない政治家も国民もいます。長く財務省の呪

縛から解放たれずにいる人々、あるいはグローバルズの波に巻き込まれている政治家や企業が目覚めてくれれば、この国の失われた30年を取り戻せるはずです。

日本の技術力と思いやりの心、まじめな研究心をもつ人々が再び力を合わせ、真に必要な省エネ、イノベーションの力でメイドインジャパンの爆買いをすること、そして海外との貿易の犠牲になっている農業政策を改めることで、農業者や中小企業、弱い人たちが適正な収入が得られる社会をつくるのが可能です。

私ははがゆい…。山本代表の政策が実現すればこの国は変われることができる！その為に皆に理解していただけるよう噛みくだいて、山本代表の思いを伝えていきたいです。

穴だらけのエネルギー基

本政策はもう葬るべきです。原発の再稼働や新増設、環境や人々の気持ちを考えない再エネ危機における海外依存する姿、そういったことを変えていくべきだと思います。

青森県六ヶ所村の再処理工場の稼働を止め、プルトニウム政策から完全に離脱してほしい、そういった運動をしていきたいです。非核三原則を堅持し、真の平和を目指す国とならねばなりません。

日本だけではなく、世界中の子供たちを被ばくさせたくないのです。

もう他者に痛みを押し付ける政策を止めなければなりません。そのためには、私はれいわ新選組とともに全ての力を注ぎこんでいきます。そのためには、戦争を許容する若者達にれいわの心を理解してほしい、世界とともに生きようと叫び

たいのです。

——他、読者に言いたいことがあれば一言お願いします。

私は、宮沢賢治の著書のなかに「社会全体の幸せがなければ個人の幸せはない」という言葉があるように、日本中が、世界中が幸せでなければ、私たちの幸せはないと思うのです。

れいわ新選組の政策には愛と理念があります。代表の言葉には哲学があります。共につながって、誰もが笑って幸せに暮らせる社会を共に一緒につくっていきましょう。

れいわの仲間になってください。共に声を上げることが希望をつくります。

さわら・わかこ

1953年青森県五所川原市出身。歯科医師。2024年れいわ新選組東北ブロック比例候補として出馬、当選。

「『社会全体の幸せがなければ個人の幸せはない』という言葉があるように、日本中が世界中が幸せでなければ、私たちの幸せはないと思うのです」



初登院から約1年！今の気持ちを直撃

2024年11月11日に初登院した上村英明議員に、約1年間の議員生活についてコメントをいただきました。

vol.03

衆議院議員
うへ むら ひて あき
上村英明

——初登院から約1年、今の気持ちを教えてください。

この1年で生活スタイルがガラリと変わりました。手探り状態からはじめ、月

並みですが、ジェットコースター状態が続きましたが、やっと1コース終わり、ちよつとゆとりができた状態です。

——この1年、うれしかったこと、つらかったことを教えてください。

本会議、所属委員会のやり方が分からず、例えば時間配分などがうまく行かずに失敗したときには悔しい

思いをしました。また、何

でこんな法案が通るのかと思ったときも。その点、心から嬉しいと思った時はなかったかも。

——通常国会に出て感じたことがあれば教えてください。

私の所属する内閣委員会は、取り扱う法案も多く、かなり頻繁に開かれます。国会の最重要委員会である予算委員会の開会数が26回、質疑時間が103時間20分

であったのに対し、内閣委員会が開会数28回、質疑時間87時間30分と、予算委員

会にひけを取りません。

次から次に政府提出法案の質疑が行われ、とくに重要だけれども、あまり得意分野でない法案の質疑が目白押しの時には「死にそう」でした。資料・情報集め、勉強、省庁レク、質問原稿の作成は、これまでの人生にない、高度なプレッシャーでした。さらに、当初は、国会の専門用語が分からず、ドタバタしました。

——国会議員の日常で、驚いたことや意外だと感じたことがあれば教えてください。

最初の特別国会は4日間。第1日目に総理大臣の選挙、第3日目に常任委員会の委員長选出、第4日目の午前中に開会式、午後に閉会式。天皇に臨席いただくには総理大臣や委員長が決まっていなければできないとのこと。

私たちが主権者に選ばれたことを考えれば、第1日目に開会式があるべきでは。ここは平安時代かと思いました。

その他、江戸時代かとも疑うような国会ルール。服装規定、本会議場や傍聴席

での規則など、おかしなルールが多すぎる。早く議事堂を建替えて、傍聴もしやすく、また、持ち回りの地方開催を実現してほしい。——れいわ新選組の議員として、この先の目標や目指していることを教えてください。

れいわ新選組の基本政策には全面的に賛成で、これらの政策を社会で実現したいことはいうまでもありません。但し、分野によっては弱い部分があるので、政策の深化や拡充は必要だと思います。

「江戸時代か平安時代と疑うような
国会ルール。その他、服装規定、
本会議場や傍聴席の規則など
“おかしいルール”が多すぎる」

——他、読者に言いたいこ
とがあれば一言お願いしま
す。
政治家にとって不可欠な
ことは、対等な目線での市
民のみなさんとのコミュニ
ケーション。これからもち
ろいろなところに出かけて
いきます。



うえむら・ひであき

1956年熊本県出身。アイヌ
民族や琉球民族の先住民族と
しての国連活動を支援。社団
法人新時代アジアピースアカ
デミー理事、人権NGO市民外
交センター元代表

れいわの議員が多すぎて
誰がどんな質問をしているのか
チェックするのが大変! というあなたに——。

魂の国会質問

れいわ新選組
所属議員たちの

第8弾

4月16日から4月17日

2025年1月24日に開会した通常国会より、れいわ新選組に所属する議員たちの注目の国会質疑を要約してピックアップ! 第8弾の今回は4項目の質疑を、写真と共に紹介します。

衆議院議員 さかぐち直人^{なおと}

2025年4月16日 外務委員会

1

ディールという名のカツアゲに屈するな! 関税で脅しをかけるトランプ大統領の手法について岩屋外相に問いました。自動車の25%関税では「引き下げるために農産物を差し出すようなことは絶対にやめてもらいたい」と念を押し、「今、国内米価の高騰で輸入米を増やす必要性が議論されている。ここで踏ん張れずにコメさえ輸入に頼れば、日本の食料安全保障は崩壊してしまう」と米国産コメ輸入拡大に明確なNO! を突きつけました。



日本の農業と食料安全保障を守る、
ピンチをチャンスにかえる契機。
ディールという名のカツアゲに屈する
ことなく多国間の自由ネットワークを
つくっていただきたい

さかぐち・なおと

1963年生まれ。2009年8月、衆議院議員に初当選。れいわ新選組副幹事長。ボランティア本部事務局長。



動画はこちら

衆議院議員 たがや^{りょう}亮

2025年4月17日 衆議員本会議

食品等流通法は、食品等の取引の適正化のために米や野菜、飲用牛乳等の費用の指標を作成・公表し、適正な価格での取引を促すことが目玉です。

その費用は全国各地で栽培方法等により異なりますので、どこまできめ細かく適正な費用の指標が定められるのかを質問しました。

江藤大臣からは、費用の指標策定は関係者の意見を十分に伺い、具体的な検討を進めるとの心許ない答弁で、この費用の指標が機能するか甚だ疑問です。



農産物は、同じ作物でも、地形や気候、栽培方法、ブランド力などによっても、費用や価格は異なります。食品等の取引の適正化のために、指定飲食料品等についての費用の指標を作成、公表することですが、うまくいくのか甚だ疑問です。

たがや・りょう

1968年生まれ。れいわ新選組副代表。衆議院千葉県第11区総支部長。大学二年生より飲食店を起業。現在まで話題店を都内に多数プロデュース。



動画はこちら

参議院議員 木村^{きむら}英子^{えいこ}

2025年4月17日 参議院 国土交通委員会

車いすの人が飛行機に乗る時に飛行機のトイレが狭くて使いづらく、また「オムツにしてください」などの屈辱的な言葉を乗務員に言われることが少なくありません。

こうしたトイレのバリアについて、障害者や高齢者が利用しやすく、複数の介護者も一緒に入れるJAXAと民間企業で開発中の航空機内用トイレを視察。

障害者、高齢者、子連れの方など誰にとっても利用しやすい航空機内のトイレを国交省に要望しました。

障害のある人たちが飛行機に乗ったときに安心してトイレができる環境というのは、誰にとっても安心して乗れる飛行機だと思います。



動画はこちら

きむら・えいこ

1965年生まれ。養護学校を卒業後、19歳で地域での自立生活を始める。全国公的介護保障要求者組合の書記長などを務め、長年にわたり仲間と共に障害者運動を行う。

参議院議員 山本太郎

2025年4月17日 環境委員会

野生鳥獣による農作物被害や熊の市街地出没が深刻化する中、政府は猟銃使用の規制緩和を進めるといふ。一方、根本原因である里山保全の衰退、自治体の人員不足、科学的な調査体制の充実に十分な予算を付けず、有効な対策は講じられていない。そこで、実効性ある予算措置と人材育成・雇用、個体数の科学的調査、人間の生活圏と鳥獣の生息地の間のバッファゾーンの構築と運用を公共事業として実施すべきだ、と訴えました。

野党の修正案も、疲弊する地方の財源や人員不足に直球で手を打つものではなく、用語の変更を求めるだけになっていることが非常に残念です。与党も野党も、なるべくお金を掛けずに、やっているふりのできる政策で落としどころを探る、そんな癖がしみ込んでしまっている。この姿勢では、問題の是正どころか、一歩前進も難しい。



動画はこちら

やまもと・たろう

1974年兵庫県宝塚市出身。れいわ新選組代表。2019年4月、独自で「れいわ新選組」を旗揚げ。草の根による国政政党設立へのチャレンジを始める。



れいわ新選組議員の推しグルメを紹介！

議員めし

腹が、減った…

Vol.9 大島九州男
一茶そば



参議院にある「一茶そば」。食券を渡してからすぐに料理が到着するので時間がないときに重宝しています。私はいつももりそば。七味をかけてネギをトッピングして食します。昔は注文する際に「ネギ多めで」と言えば増やしてくれたのですが、みんなが真似したのか、30円のトッピングができて、今は100円です（笑）。



れいわ新選組
HPはこちら



れいわオーナーズ
ご案内はこちら

あなたが、れいわ新選組のオーナーになりませんか？



ご寄附の受付

れいわ新選組は、皆さまからの寄附をお願いしております。頂きましたご寄附は、れいわ新選組が取り組んでいる政治活動、事務所運営費等に活用させていただきます。

れいわPRESS 第12号



発行・れいわ新選組 れいわPress編集部
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-5-20 押田ビル4階
TEL:03-6384-1974